

平成23年1月期

製造業

◇納豆…低価格ありきの流れは変わっていない。中小メーカーは生産量そのものが少ないため省力化、コストダウンが難しい。土産品、通信販売、業務ルート、差別化商品などで対応しているものの限界が近付いている。

◇菓子…中旬までは和菓子類を中心に年始用・帰省客の土産用と売行きは伸びたが、その後は売行きもやや落ち全体的にみると、景況は保合いであった。

◇パン…全パン連の会議で農水省から麦価の値上げに関する報告がされ、厳しい年になりそうである。

◇酒…12月の清酒課税移出数量は、前年同月比98.5%で前年割れ。やや持ち直しの感があったが予断を許さない状況。

季節的に最も需要が旺盛な時期だが、業務用市場の落込みが相変わらず。焼酎乙類も12月は前年比87.9%の落込み幅。

◇繊維製品(袋物)…中国が旧正月で生産ストップの関係で多少なりとも国内生産が増えた。学校用品の定番商材はコスト面で年々厳しくなっている。

◇繊維製品(縫製)…業績の悪化が続いている。繊維関係は仕事量が多少安定し、他の取引先から話がかくようになってきている。

◇木材…製品市場の初市は例年になく明るいムードで幕開け。国産材に対する追い風も要因の一つでこれを現実のものとしていくことが課題。国産材は丸太不足が前面に波及し、昨年来の仕入れが難しくなっている。新築住宅が減少する中で、リフォームをいかに取り込んでいくかが課題。

◇プレカット…12月の仕事残もあり前年同月以上の加工ができた。回収面で一部遅れが出てきている。

◇段ボール…昨年と同じか少し悪い所が多い。円高の影響で海外からの安い製品に市場を奪われ、なかなか生産量が増えない。

◇印刷(総合)…年末の季節需要が一段落した後は超閑散。

◇焼物…正月からイベントを開催した事で、個々の収益は若干上向きになった感はあるがまだまだ底である。

◇鍍金…受注量、機械の操業度は前年並み。景況も前年と大きな変化は無い。金属材料、工業薬品とも価格は落ち着いている。

◇重電…重電機器自体の大手取引先の受注減少により、作業量の減少、厳しい状況が続いている。

◇電化機器…当月生産高は664百万円(対前年同月比5.8%減)、年末年始の長期休業の影響もあるが、今年度最低の生産高。

◇自動車部品…組合員各社でバラツキはあるが、比較的好調に推移。

◇工業団地(農機部品)…組合員の売上状況は、前年同月比92%で2社が増加、5社が減少。市場(得意先生産等)動向と組合員への影響では先月に引き続き今月も激減。納品先のメーカー側は、世界で生き残るための海外戦略を加速させる動きを強化し、コストダウン・売上増を狙うが中小企業には厳しい試練が訪れようとしている。

非製造業

◇セメント卸…袋セメントの出荷袋数は前年同月比8%減。出荷減少の底打ち感が期待されているが、減少に対する歯

止めは見られない。

◇水産卸…精算所取扱高は前年同月比0.14%の微増。年明け後も厳しい状況が続いているが、久しぶりに前年同月の取扱高を上回る事ができた。

◇県西地区卸売業…低迷状態が続いている中で、受注期間が昨年より少し伸びている。受注量が増加していないので在庫を増やせない。円高の影響で仕入値が上がったが、販売価格に転換が図れない。

◇県南地区卸売業…県の補正予算及び県内建設業者の経営強化対策に期待。

◇県南地区共同店舗…販売価格(客単価)が更に低下。総じて低迷が続いているが、特に衣料品の不振が目立った。

◇県北地区共同店舗…キーテナントも衣料を筆頭に大苦戦。期待の初売りも不発に終わり、売上も大幅ダウン。

◇家電…12月のボーナスによる家電品需要反動で売り上げは各店共減少。エコポイント改正による大幅減少があった分減少幅は少ない。地デジ化まで半年、テレビ需要の掘り起こしに積極的に動いている店が多く見られる。

◇石油…原油価格の上昇により、ガソリン販売価格は前年同月比で9円上昇。全国最安値の状況が続いているため、休業・廃業等に追い込まれる組合員が後を絶たない。

◇ホテル・旅館…収益が微減の方向にあり心配。

◇自動車整備…車輛入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、対前年同月比、普通車が97.5%と引続き減少、軽自動車は100.1%。

◇総合建設…依然として危機的状況が続いていることに変わりはない。各社年度末の集中工事に備え重機等の設備を揃えているが、維持費等の過分負担となり経営を圧迫している。

◇管工事…総じて低い水準で変化なし。組合員個々の収益からは未だ浮場の気配が感じられない。

◇県北地区運輸…主要顧客の出荷物量は年末の繁忙期が過ぎ落ち着いた。燃料価格の上昇が続く収益は悪化。

◇県央地区運輸…部分的に動きが良い物もあったが、全体的にはあまり良くなかった。燃料価格上昇もまだ先見えず。

H23.1月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品製造		▲ 83.3		▲ 50.0	
その他製造		▲ 5.0		▲ 30.0	
卸売業		▲ 100.0		▲ 75.0	
小売業(商店街を含む)		▲ 18.2		▲ 45.5	
サービス業		▲ 50.0		▲ 100.0	
建設業		▲ 80.0		▲ 80.0	
運輸業		0.0		▲ 50.0	
全体		▲ 34.0		▲ 48.0	

【天気図の見方】 県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は、「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10～30未満	10未満～▲10	▲10超～▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値